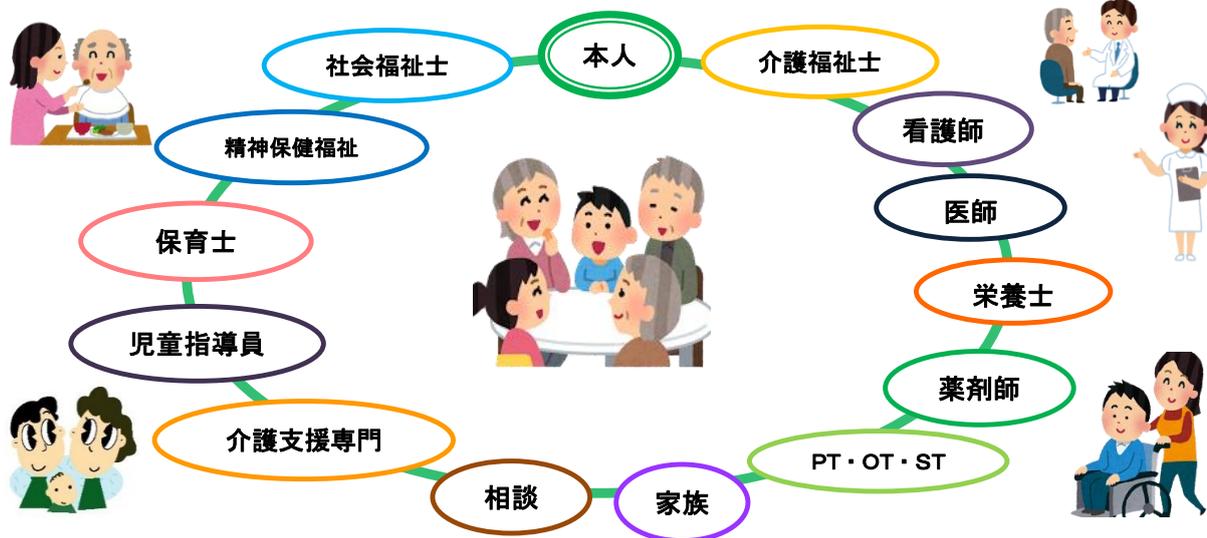
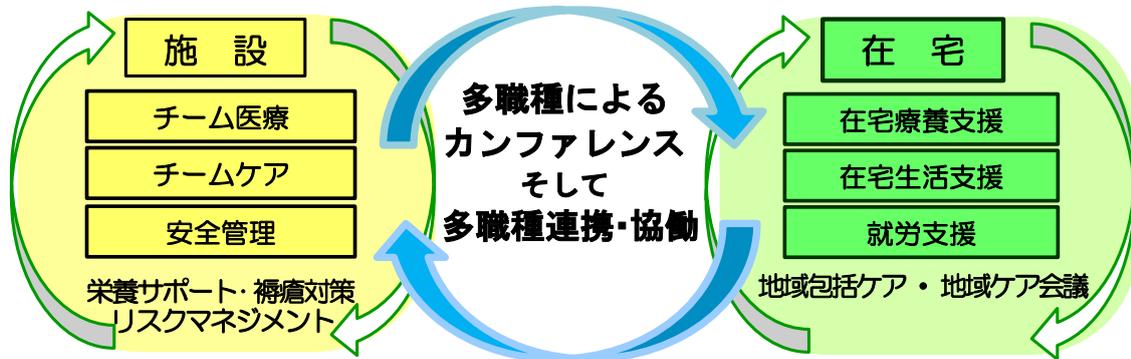




多職種連携推進課程 二次募集

地域で“つながる ♣ つなげる” 力をあなたに !!



専門職連携のスキル

- ❖ コミュニケーションと合意形成
- ❖ 連携と協働のファシリテーションスキル
- ❖ 効果的なカンファレンス

ケアマネジメントと多職種連携

- ❖ ケアマネジメントの基本
- ❖ ケアマネジメントスキル

地域アセスメント・地域づくり

- ❖ 地域ケア会議
- ❖ 地域アセスメント
- ❖ 地域づくりのネットワーク構築とコーディネートスキル

地域包括ケアの実際

- ❖ 様々な分野におけるチームアプローチ
- ❖ 地域資源の活用と創出

安全管理と多職種連携

- ❖ 安全管理の基本的知識
- ❖ 多職種による危険予知
- ❖ 安全管理の法的理解

事例検討

- ❖ 自己検証
- ❖ 課程の学びの総括

- 働きながら学べます 受講しやすい毎土曜日開講（4月～12月）
- 最短100時間で卒業 様々な選択科目を設定 *科目試験はありません。
- 仕事にすぐに役立つ知識や技術を、実際に多職種で交流しながら学べます。

多職種連携推進課程 Q&A

Q:どのような職種の人が受講していますか？

A:看護師、介護支援専門員、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、作業療法士、相談員、栄養士、行政職など様々です。また資格に関係なく、保健医療福祉の現場で働いている現任の方を対象としています。多様な職種の方々と共に学び、実践力を磨くことができるのもこの課程の魅力です。

Q:学費はどの位かかりますか？

A:入学料は、神奈川県内在住の方は68,800円、県外在住の方は137,600円です。
授業料は、選択する科目・時間数により19,400円(100時間まで)～38,800円(101～200時間まで)となります。(金額は全て税込みです。)



第1回生の作品「ヒューマン君」

どの講義も「目からウロコ」の話題がいっぱいです。

「役割分担」が「役割分断」となっていないか？

この問いかけに、自分がこれまで何を伝え、どう繋がってきたのか、振り返らざるを得ませんでした。クライアントを中心に、合意形成を図る大切さを学びました。

(社会福祉士)

どのような物事も、職種によって見え方が違うことを学びました。(診療情報管理士)

患者、家族を支えるためにチーム医療を進めること、より機能させていくことの大切さを改めて学びました。(看護師)

IPW・IPEについて学び、何をすべきなのか自分の立ち位置と役割が理解できました。多職種による連携こそが、これからの住みやすい地域づくりの基礎であると気づかされました。(就労支援員)

「連携」というけれど、どうして「連携」が大切なのか。多職種での連携はどうしたらいいか。そんなモヤモヤと言葉にできない思いを学びながら言語化出来、地域での実践に役立っています。(ケアマネージャー)

ストレングスへの気づきで、新たなケアプラン作成の視点に繋がりました。(介護福祉士)

卒業生からのメッセージ



ともに学んだ人とのつながり、仲間が大きな宝物となること(看護師)

他の職種に対する理解が深まることで、職場での連携や仕事に対するモチベーションも育まれました。多職種が連携し、それぞれの専門性を束ねることで得られる「実践の智」を体感できる課程です。

(介護福祉士)

多職種連携の考えが広がる中で、PTがやるべきこと、他の職種からの見られ方、要望されていることがよく理解できました。仕事の広がりを感じることが出来ます。リハ職の方もぜひ！

(PT)

< 募集の概要 >

- ◆募集定員 20名程度
- ◆出願資格 保健・医療・福祉関連機関・施設等において、多機関・多職種との連携が必要な業務に、1年以上継続して従事している方
- ◆出願期間 平成31年1月18日(金)～2月1日(金)
- ◆合格発表 平成31年2月20日(水)

※募集要項は、当センターホームページをご覧ください。

(<http://jissen.kuhs.ac.jp>)

◆問合せ先

実践教育部 多職種連携推進課程担当 電話 045-366-5871

